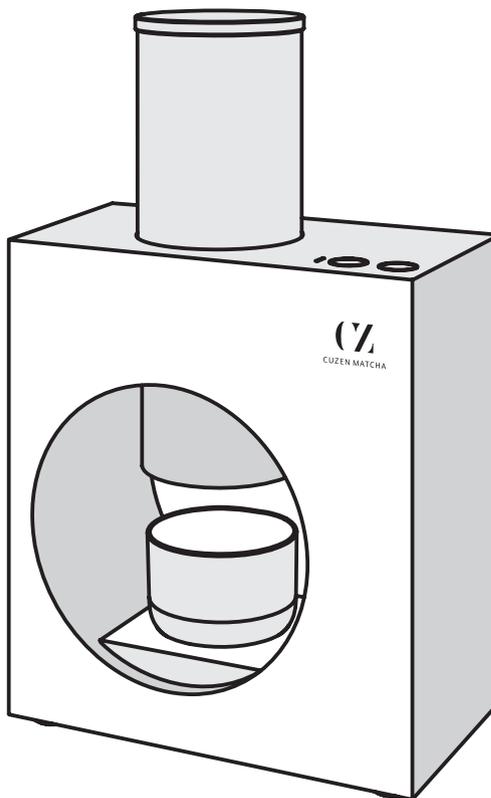




CUZEN MATCHA



抹茶マシン 家庭用

CZ01J

取扱説明書

お買いあげいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書（保証書付）をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。また、この取扱説明書（保証書付）は、いつでも見ることができるよう大切に保管ください。

※ 本製品は一般家庭用です。業務用として使用しないでください。

もくじ

安全上のご注意	2	お手入れ方法	20
各部のなまえ・はたらき	4	故障かな?と思ったら	23
各部の取り扱いかた	5	保証とアフターサービス	25
お使いになる前に	13	仕様	25
MATCHA SHOTをつくる	14	お問い合わせ先のご案内	26
MATCHA POWDERをつくる(粉だけモード) ..	17		

安全上のご注意

人への危害、財産への損害を防ぐため、お守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたで生じる内容を、次のように区分して説明しています。



警告 「死亡または重傷を負うおそれがある」内容



注意 「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容

■お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。



してはいけないこと



しなければいけないこと



警告 感電や漏電、発火などによる事故やけがを防ぐために

分解・修理・改造はしない



- 自分で絶対に分解・修理・改造をしない(感電・火災・けがの原因)
修理は販売店または弊社お問い合わせ窓口までご連絡ください。

子供だけで使わせない



- 乳幼児の手の届くところで使用・保管をしない
(感電・やけど・けがのおそれ)

本体を水でぬらさない



- 本体を水につけたり、水をかけたりしない
(感電・ショート・故障の原因)

異常・故障時には、直ちに使用を中止する



- すぐにACアダプターを抜いて、点検・修理を依頼する
(発煙・発火・感電・けがのおそれ)
 - ・ACアダプターや電源プラグ、電源コード、本体が異常に熱くなる
 - ・コゲ臭いにおいがしたり、異常な音や振動がする
 - ・専用カップなどの部品にひびや破損箇所がある
 - ・その他の異常や故障がある

電源プラグや電源コードは、乱暴に扱わない



- ゆるんだコンセントは使わない
- 傷んだ電源プラグや電源コード、アダプタープラグは使わない
- 傷付けたり、変形させない
- 収納時に電源コードを本体やACアダプターに巻きつけない
無理に曲げる・引っ張る・ねじる・束ねる・重いものをのせる・挟み込む・加工する・高温部に近づけるなどをしていない(火災・感電・ショートの原因)



- 定格15A以上・交流100Vの専用コンセントを単独で使う
(他の器具と併用した分岐コンセント[延長コード]を使うと異常発熱し、発火・感電の原因)
- 電源プラグ・アダプタープラグは根元まで確実に差し込む(発火の原因)
- 定期的に電源プラグ・アダプタープラグに付いたほこりを乾いた布で拭き取る(ほこりがたまると、火災の原因)



- ぬれた手で電源プラグ・アダプタープラグの抜き差しをしない
(感電・けがの原因)

運転中や停止後すぐは、白ユニットに触れない



- 運転中に温度が高くなります。
(やけどの原因)

安全上のご注意

注意 けがを防ぎ、家財などを守るために

次のような場所で使用しない



- 不安定な場所や熱に弱い敷物の上
(けが・やけど・火災・水濡れの原因)
- 水のかかる所や火気の近く
(変色・変形・感電・火災の原因)
- 壁や家具の近く
(変色・変形の原因)

電源プラグは正しく扱う



- ACアダプターを抜くときは、完全に運転が停止していることを確認してから、電源コードを持たず、必ずACアダプターを持って引き抜く
(感電やショートして、発火の原因)
-
- 部品の取り付け・取りはずし・お手入れは、必ずACアダプターをコンセントから抜いておこなう
(感電・けがの原因)
 - 使用時以外は、ACアダプターを抜く
(絶縁劣化などで感電や漏電・火災の原因)

移動させるときは



- 専用カップをとりはずす
(落下によるけがの原因)
- ACアダプターを抜き、竹フタやアルミ筒はつかまず、本体を下から支えるように水平に持ち上げる



- お手入れは冷めてからおこなう
(やけどの原因)

専用カップについて



- 水以外の液体(牛乳など) およびお湯、氷などの固体を入れて使用しない
(故障・やけどの原因)
- 専用カップにひびや破損がある、水漏れがある場合などは使用しない
(故障の原因)

運転中は



- 運転中は本体から目を離さない
(故障・事故の原因)
- 運転中は本体、専用カップ、ウイスクに手を触れない
(故障の原因)
- 本体上部にはものを置かない
(故障・けがの原因)
- 本体を倒したり、傾けたりしない
(落下によるけが、故障の原因)

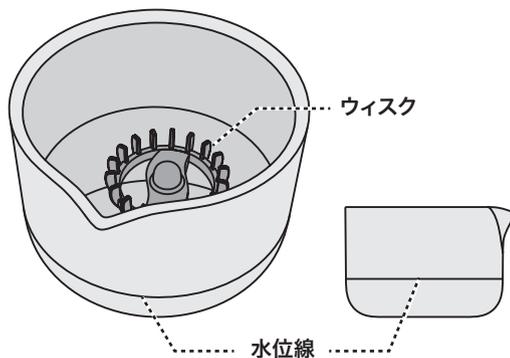
その他



- 使用前に白ユニットに専用リーブ以外のものが入っていないことを確認する
 - 運転を始める前に、竹フタがしっかりとしまっていることを確認する
- 
- 取扱説明書に記載以外の用途には使わない
 - 専用の部品以外は使用しない
(故障・けがの原因)
 - 直射日光があたる場所で使用・保管しない
(製品の変色の原因)
 - 専用カップや白ユニットなど取り外し可能なパーツを洗うときは、研磨剤やタワシ、目の粗いスポンジなどを使用しない
(故障の原因)
 - 屋外では使用しない
(故障・事故の原因)

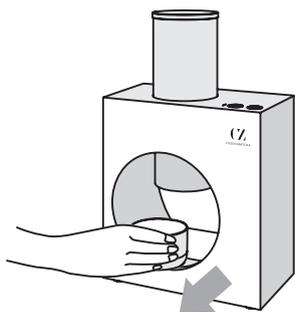
各部の取り扱いかた

専用カップ



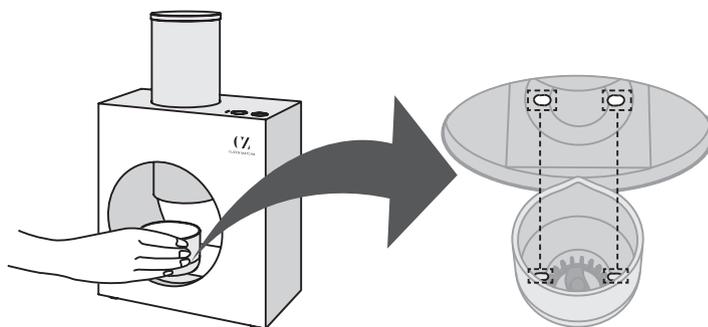
専用カップを取り出す

本体前面より手前に引き出す。



専用カップを置く

専用カップの注ぎ口が本体の奥に向いていることを確認する。
台座の凸部と専用カップの底の凹部がはまるように専用カップを置く。

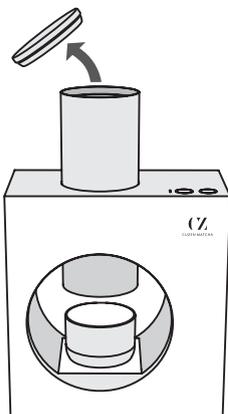


台座とウィスク内に組み込まれている磁石により、磁気で引き寄せられる感触がある。

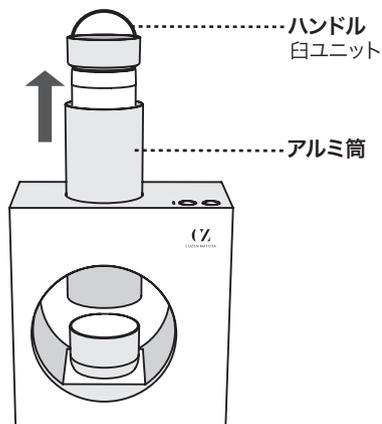
各部の取り扱いかた

白ユニットを取り出す

① 竹フタを開ける。



② ハンドルを持ち上げ、白ユニットを取り出す。



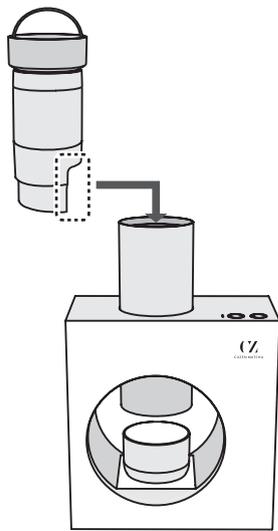
注意：

使用后、白ユニットを取り出す際は、MATCHA POWDER
が落ちることがありますので、ご注意ください。

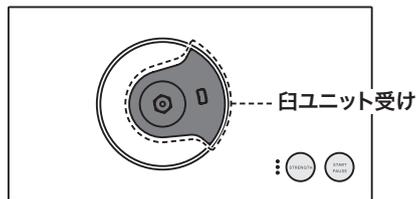
各部の取り扱いかた

白ユニットをセットする

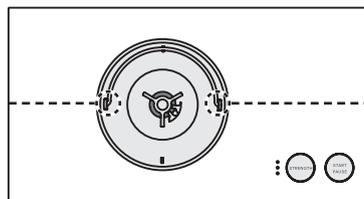
- ① 白ユニットのくぼみが本体に向かって右側になるように注意してセットする。
(向きが正しくないと竹フタが閉まりません)



- ① -a アルミ筒を上から覗くと、白ユニット受けが確認できます。白ユニット受けの形状に合わせて、下奥までしっかりセットする。

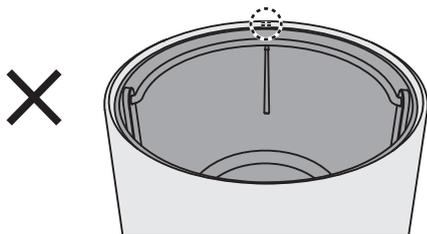
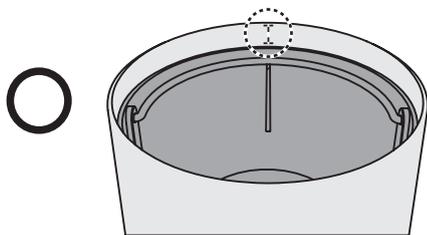


- ① -b ハンドルの付け根の延長線が本体左右の端と垂直になるように入れる。

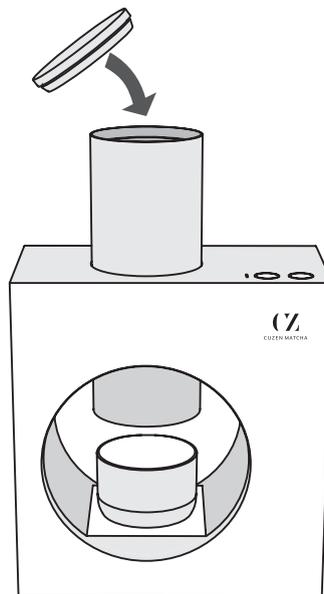


上から見たアルミ筒内部

- ① -c 竹フタがきちんとはまるスペースができるように、白ユニットを白ユニット受けにしっかりセットする。



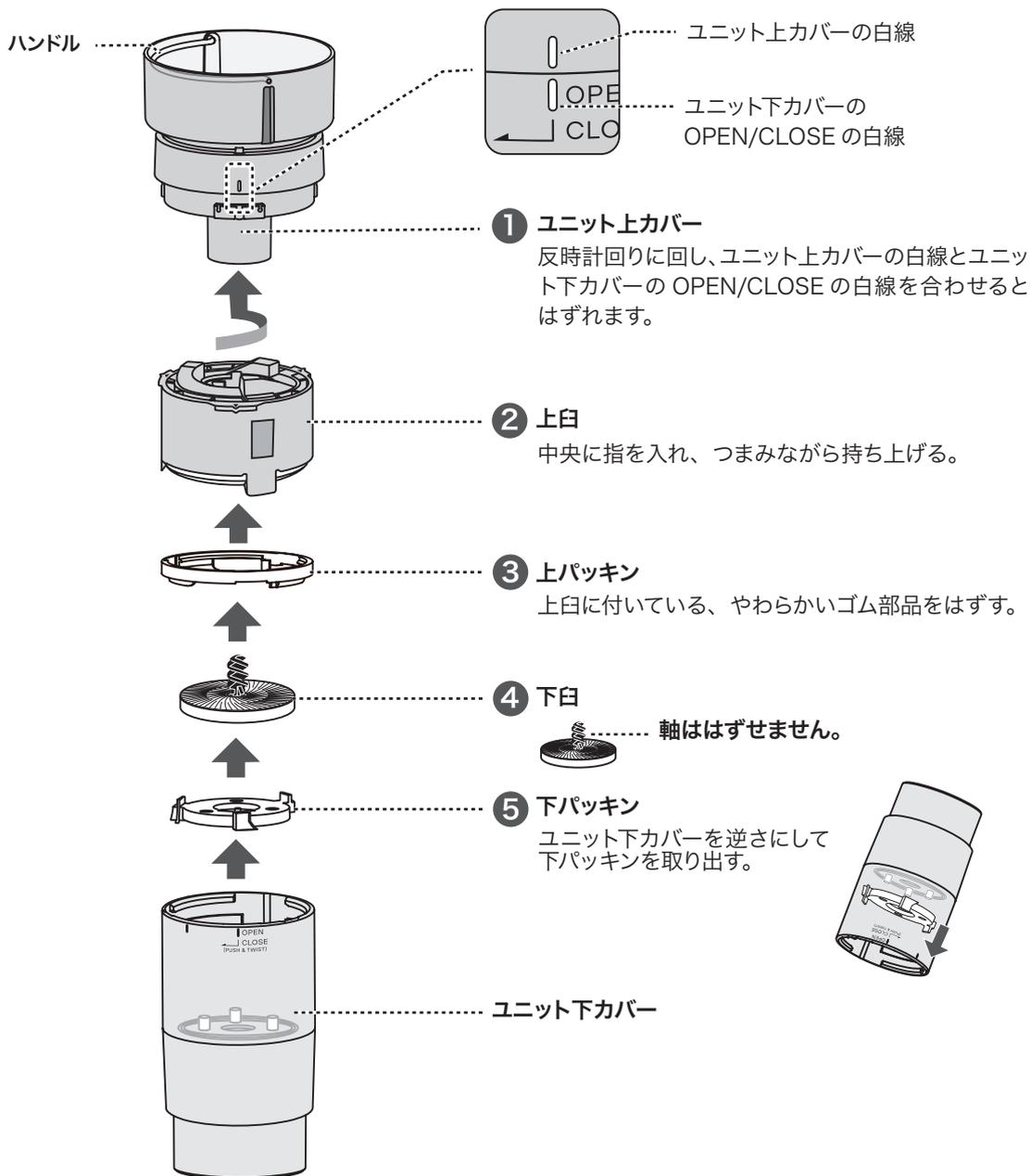
- ② 竹フタを閉める。



各部の取り扱いかた

白ユニットを分解する

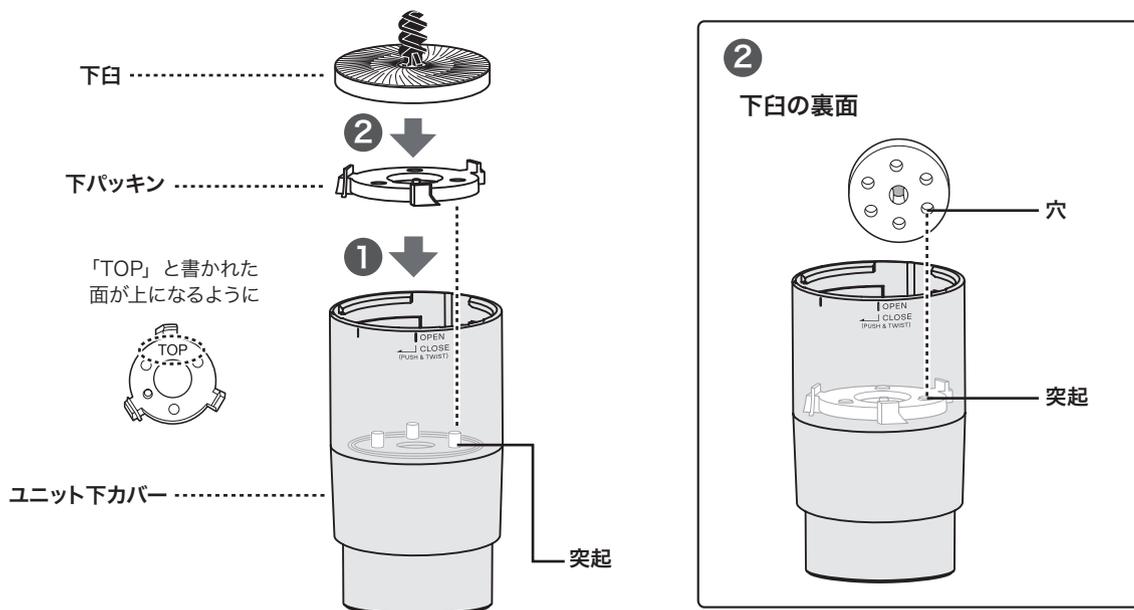
白ユニットを分解するときは、下記の順番で行なってください。



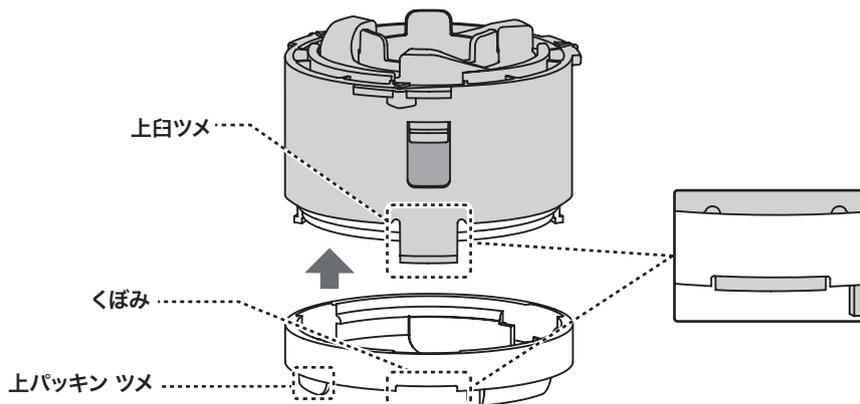
各部の取り扱いかた

臼ユニットを組み立てる

- 1 下パッキンの「TOP」と書かれた面を上に向け、ユニット下カバーの突起と下パッキンの穴を合わせて入れる。
- 2 下臼裏面の穴をユニット下カバーの突起に合わせて入れる。
(下臼をゆっくり回して、はまる場所をさがしてください)

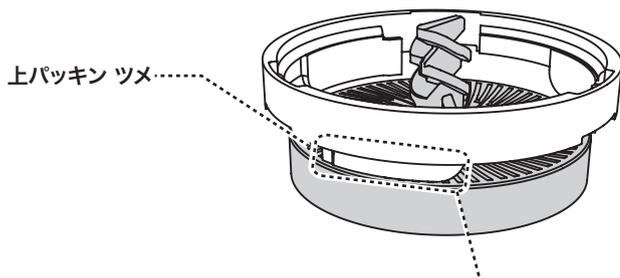
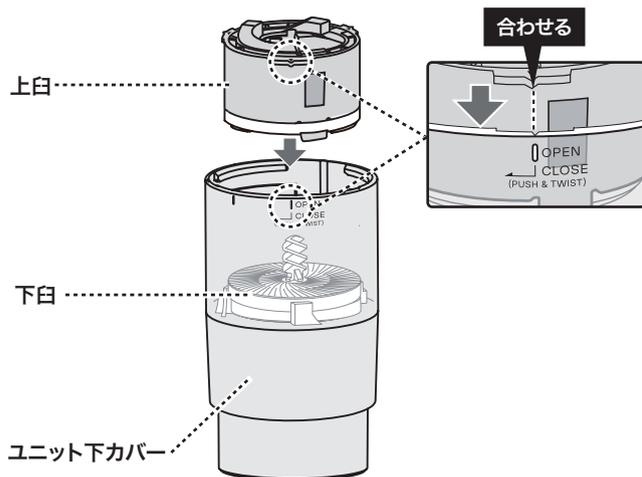


- 3 上臼と上パッキンをセットする。
上臼と上パッキンのツメをどちらも下向きにする。
上臼の3つのツメの上に、上パッキンのくぼみを合わせ、少し引っ張るようにして3か所ともかぶせる。



各部の取り扱いかた

- 4 上白を下白の上にセットする。
上白の▼部3箇所を、ユニット下カバーのOPEN/CLOSEの白線と合わせ、ゆっくり真下に下ろします。

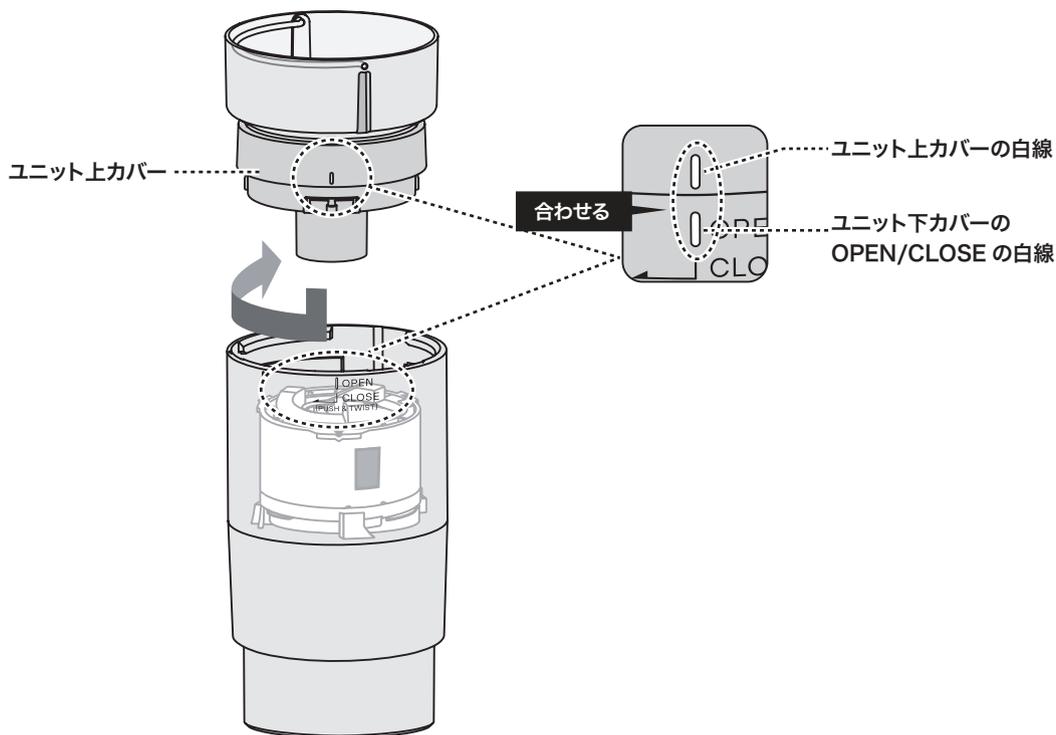


注意：

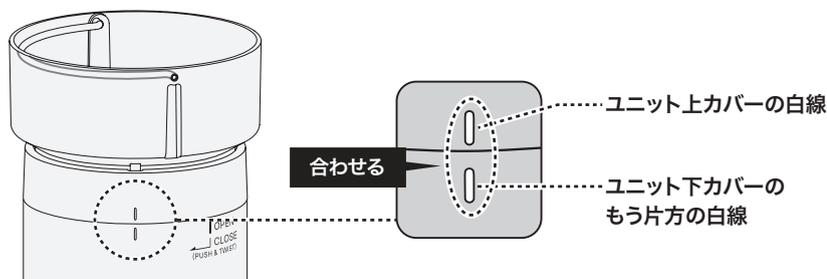
上白をユニット下カバーに入れる際、
上白に取り付けた上パッキンのゴム製のツメが折れ曲がったり、
潰れて上下の白に挟まれていないか確認してください。

各部の取り扱いかた

- ⑤ ユニット上カバーの白線とユニット下カバーの OPEN/CLOSE の白線が縦に並ぶように合わせる。



- ⑥ ユニット上カバーを下に押し込みながら、時計回りにユニット下カバーのもう片方の白線まで回す。

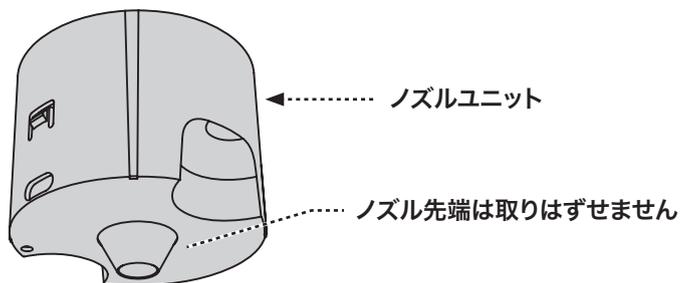


メモ：

ユニット上カバーがしっかりセットできないときは、①～④の組み立てがうまくできていません。次のことを確認しながら、もう一度、①からやり直してください。

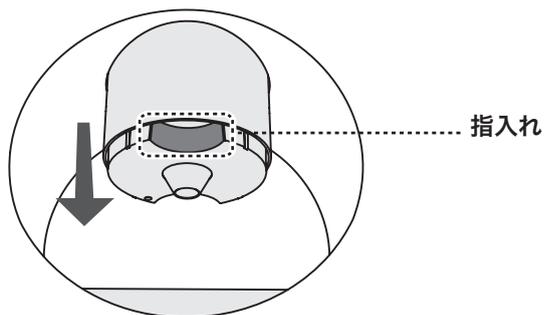
- 下パッキンの「TOP」と書かれた面を上に向け、ユニット下カバーの突起に合わせましたか？
- 下臼裏面の穴をユニット下カバーの突起に合わせましたか？
- 上臼と上パッキンのツメはどちらも下向きになっていますか？
- 上臼は正しく位置を合わせてセットしましたか？
- 上パッキンのゴム製のツメが折れ曲がったり、潰れて上下の臼に挟まれていませんか？

各部の取り扱いかた



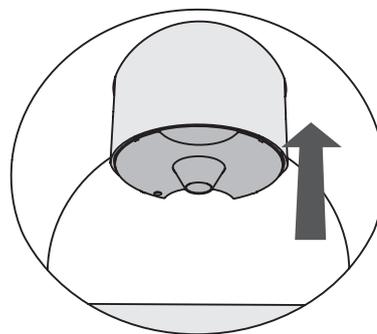
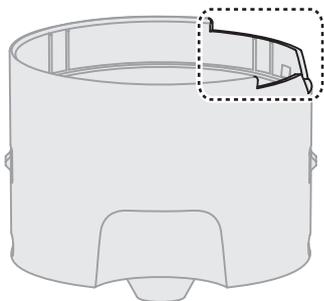
ノズルユニットを取り出す

- 1 ノズルユニットを取り出すには、下から、指入れのくぼみに親指と中指をかけ、下に向けて強く引く。



ノズルユニットをセットする

- 1 ノズルユニット上部のくぼみが本体に向かって右側になるようにセットする。
- 2 まっすぐ上に押し上げ、指入れが本体の手前と奥になっていれば正しくセットできている。



お使いになる前に

はじめて使う前に

1. MATCHA マシンを箱から取り出し、梱包材を取り除いてください。
 2. MATCHA マシンは平らで安定した場所に置いてください。
 3. 専用カップを洗い、本体台座の上に置きます。
- その他のパーツを洗う場合は、水分を拭き取り、よく自然乾燥（8 時間以上）してからお使いください。

次のことをお守りください

茶葉

- CUZEN MATCHA 専用リーフのみご使用ください。他の茶葉を使用すると故障の原因になります。
- 湿った茶葉は使用しないでください。

注意：

茶葉ごとに水分含有量が異なります。CUZEN MATCHA 専用リーフ以外の茶葉を使用すると、臼ユニット内での故障の原因になるため、専用リーフをご利用ください。

専用カップ

- 熱湯を入れたり、電子レンジで加熱したりしないでください。熱により変形または、溶けるおそれがあります。また、湯気によりMATCHAマシン内部の臼の故障の原因になります。
- ウィスクの底には磁石があります。磁気に弱いものに近づけないでください。

臼ユニット

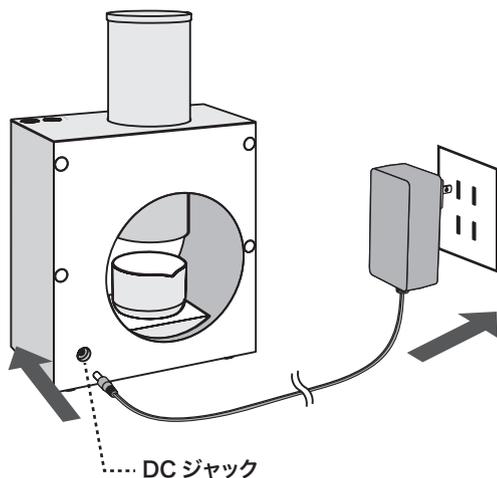
- 上下臼はセラミック製です。強い衝撃により破損する恐れがあるので取り扱いにご注意ください。
- 水洗い後の乾燥は、乾いた布でしっかり水気を取ったあと、自然乾燥（8 時間以上）してください。
- 臼は稼働中および停止直後は熱を帯びます。

MATCHA SHOT をつくる

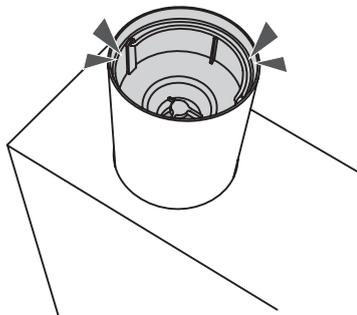
石臼の技術を再現することで、CUZEN MATCHA 専用リーフを粉状に碾きます。
茶筌（ちゃせん）の役割を担うウィスクが碾きたてのMATCHA POWDERと水を攪拌（かくはん）させ、
濃い抹茶（液体）であるMATCHA SHOTを作ります。

注意：水は専用カップにのみ入れます。アルミ筒には入れないでください。

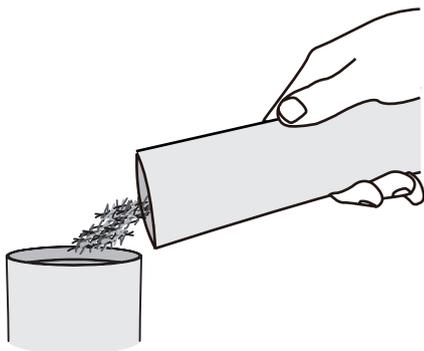
- ① アダプタープラグを本体背面の DC ジャックに挿す。壁のコンセントに ACアダプターを挿す。



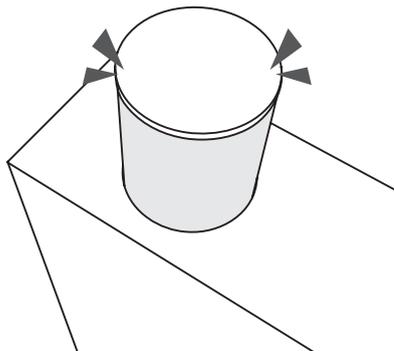
- ② 竹フタを開け、
・臼ユニットが正しくセットされているか(p. 7 参照)
・CUZEN MATCHA 専用リーフが入っているかを確認する。



- ③ MATCHAリーフが足りなければ追加する。



- ④ 竹フタを閉める。



MATCHA SHOT をつくる

5 専用カップの水位線まで水（常温、冷水）を入れる。

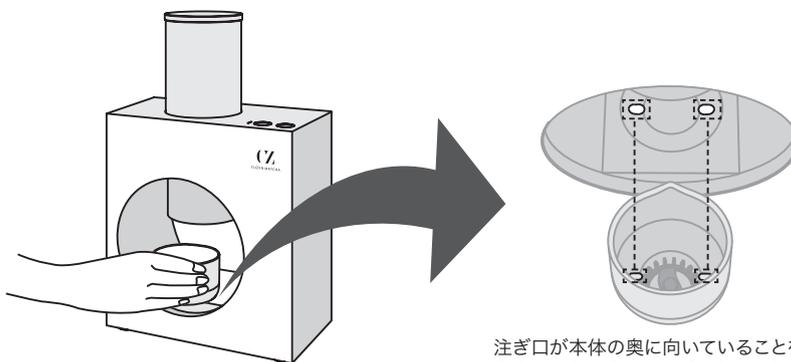


注意：

専用カップに

- ・ 熱湯を入れたり、電子レンジで加熱したりしないでください。
- ・ 水位線より多く水を入れしないでください。
- ・ 氷を入れしないでください。
- ・ 牛乳など水以外の液体を入れしないでください。

6 台座にカップを置く。



注ぎ口が本体の奥に向いていることを確認する。
台座の凸部と専用カップの底の凹部がはまるように
専用カップを置く。

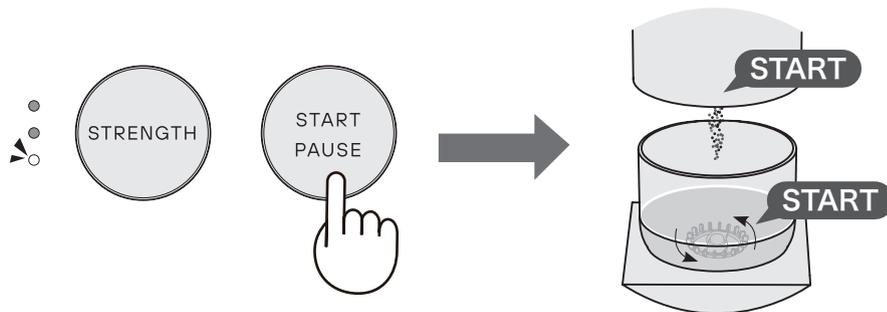
7 お好みの濃さ（MATCHAリーフを碾く量）を選ぶ。



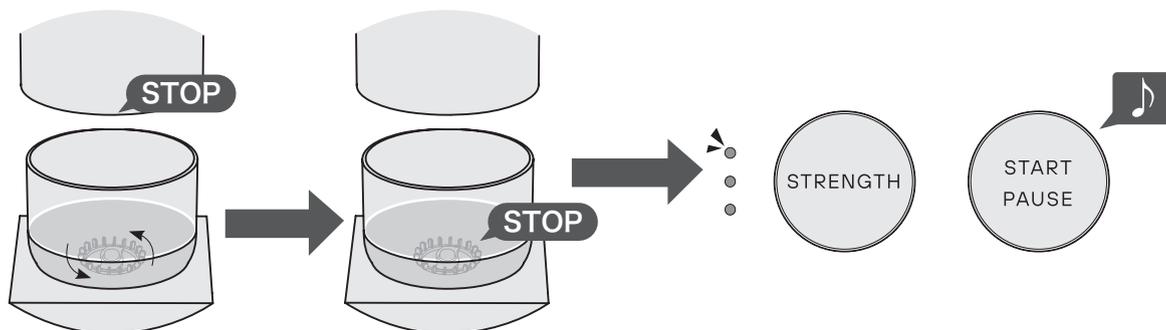
STRENGTH（濃さ）ボタンを押すたびに濃さレベル表示ランプが1から順に3まで点灯します。
レベル3の状態でも STRENGTH ボタンを押すとレベル1に戻ります。

MATCHA SHOT をつくる

- ⑧ START (スタート) ボタンを一度押すと臼が回転し MATCHAリーフを碾き始めます。同時にウィスクが回転することで、碾かれたMATCHA POWDERと水が攪拌し始めます。(碾く時間は、選んだ濃さに応じて変わります)



- ⑨ MATCHAリーフを碾き終わった後も、約 20 秒ほどウィスクは回り続けます。終了音が鳴り、濃さレベル表示ランプが消えるとできあがりです。ウィスクが完全に止まるまで、お待ちください。



メモ：

- 一時停止・・・ 運転中に START ボタンを一度押します。
(濃さレベル表示ランプが点灯から点滅に切り替わります)
- 運転再開・・・ 一時停止の状態でも START ボタンを再度押します。
- 運転キャンセル・・・ START ボタンを長押しします。

注意：

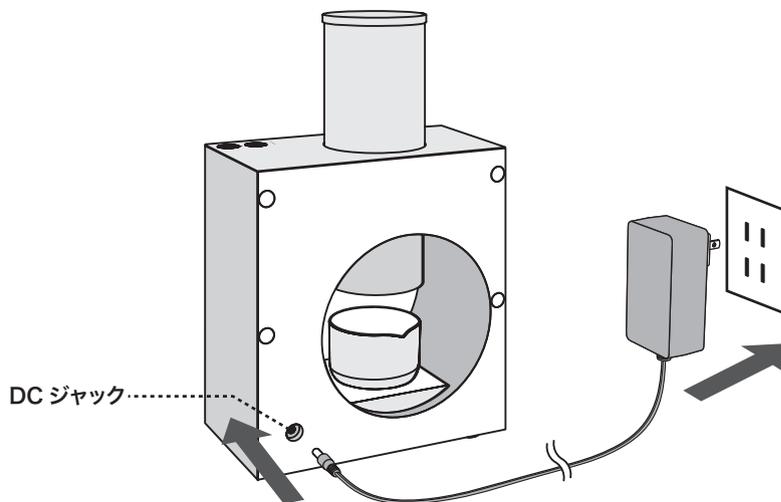
- ・ MATCHA POWDERの量は、MATCHAリーフの保存状態や臼の個体差、使用環境などにより増減します。
- ・ MATCHA マシンからの振動音は機械の異常ではありません。
- ・ はじめての使用時やお手入れ後は、臼の動作音が大きく、MATCHA POWDERの量が少ないことがあります。
- ・ 連続使用により MATCHA マシンがオーバーヒートすることがあります。
- ・ 臼が正しくセットされているにもかかわらず、「MILL (臼) エラー」が点滅している場合は、30 分ほど MATCHA マシンの使用を止め、冷ましてください。

MATCHA POWDERをつくる (粉だけモード)

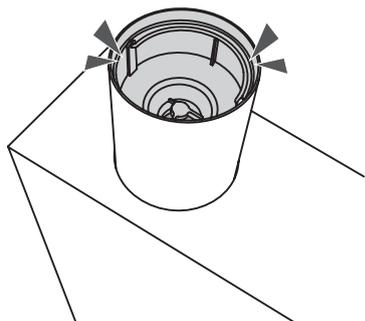
お料理やお菓子作りに使えるよう、碾きたてのMATCHA POWDERだけをつくることができます。

注意：専用カップに水を入れません。

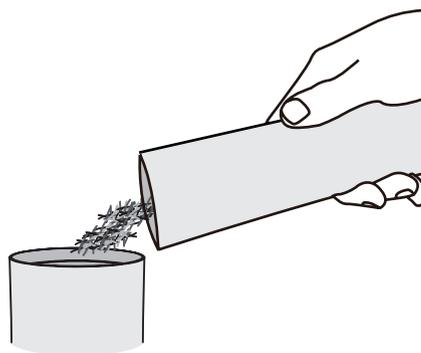
- 1 アダプタープラグを本体背面の DC ジャックに挿す。
壁のコンセントに AC アダプターを挿す。



- 2 竹フタを開け、
 - ・臼ユニットが正しくセットされているか (p. 7 参照)
 - ・CUZEN MATCHA 専用リーフが入っているかを確認する。

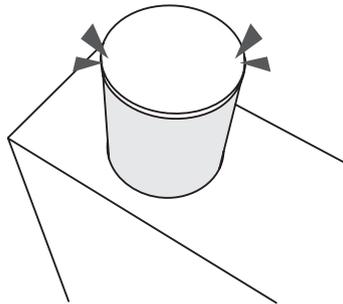


- 3 MATCHA リーフが足りなければ追加する。

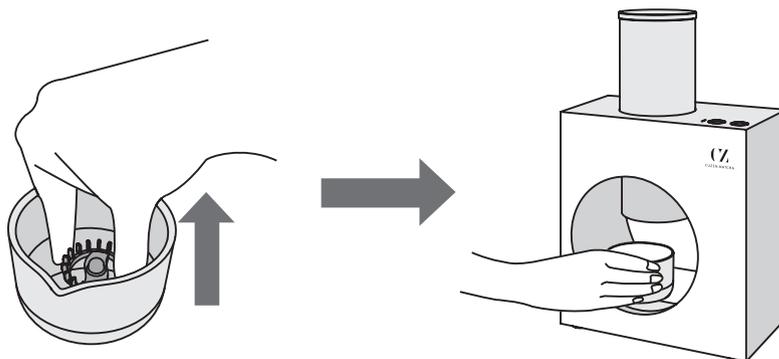


MATCHA POWDERをつくる (粉だけモード)

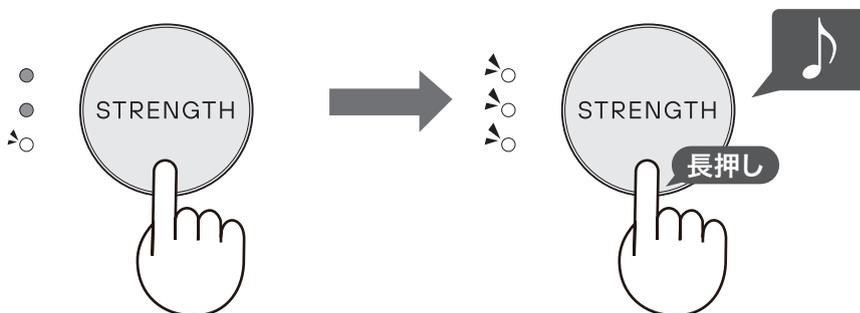
- ④ 竹フタを閉める。



- ⑤ 完全に乾いた専用カップを台座に置く。
ウイスクをはずして使うと便利です。(p. 21 参照)

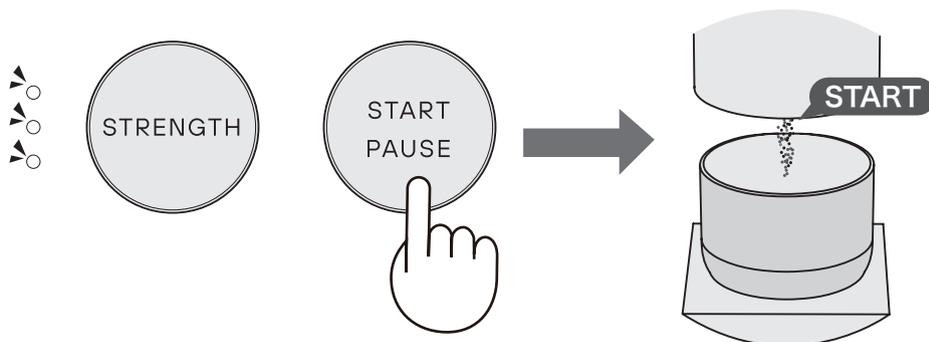


- ⑥ STRENGTH (濃さ) ボタンを1度押すと濃さレベル表示ランプが1つ点灯します。
つぎに、STRENGTH (濃さ) ボタンを長押しすると、音が鳴り、濃さレベル表示ランプが3つ高速点滅し、
粉だけモードに切り替わります。

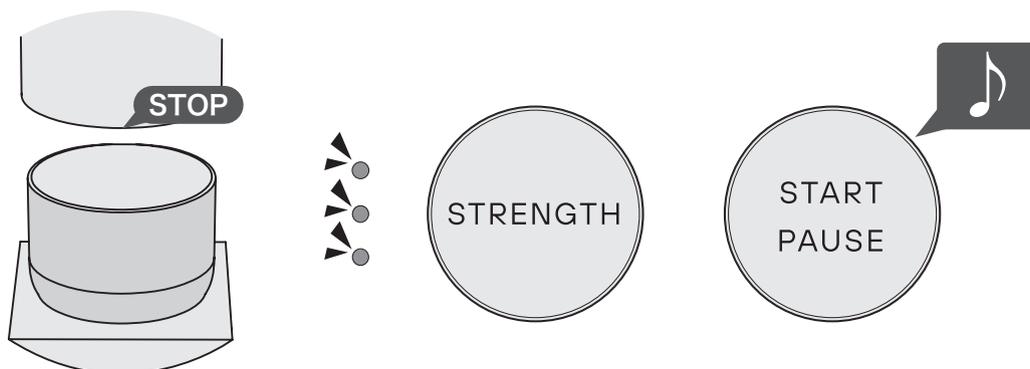


MATCHA POWDERをつくる (粉だけモード)

- 7 START (スタート) ボタンを押す。約 1.5 g の MATCHA POWDER が碾かれます。
粉だけモードでは MATCHA リーフを碾く量は選べません。



- 8 碾き終わると音が鳴り、濃さレベル表示ランプは消えます。



メモ:

- 一時停止・・・ 運転中に START ボタンを一度押します。
(濃さレベル表示ランプが点灯から点滅に切り替わります)
- 運転再開・・・ 一時停止の状態ですら START ボタンを再度押します。
- 運転キャンセル・・・ START ボタンを長押しします。

お手入れ方法

お手入れの前に、下記を行なってください。

- ・ランプがすべて消えていることを確認 (点灯・点滅している場合は START (スタート) ボタンを長押しする)
- ・ACアダプターをコンセントから抜く
- ・本体を冷ます

注意：

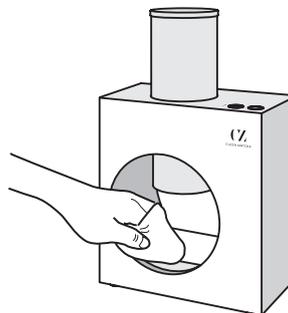
MATCHA マシンのすべてのパーツで下記は使えません。

- ・研磨剤入りのクレンザー、塩素系漂白剤、酸性・アルカリ性洗剤、アルコール、スプレー式洗剤
- ・金属たわし、メラミンスポンジなど
- ・食器洗い乾燥機

本体以外の取り外しができるパーツは、台所用中性洗剤が使えます。

本体

固く絞った柔らかいふきんでやさしく水拭きする。
水分を多く含んだ布を避け、化学薬品や研磨剤を使わないでください。



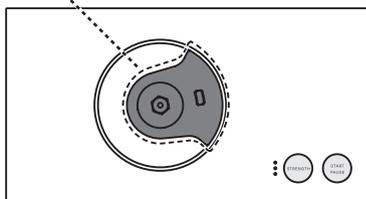
コントロールパネル、白ユニット受け、DC ジャック

水分が入らないよう、慎重にお手入れしてください。

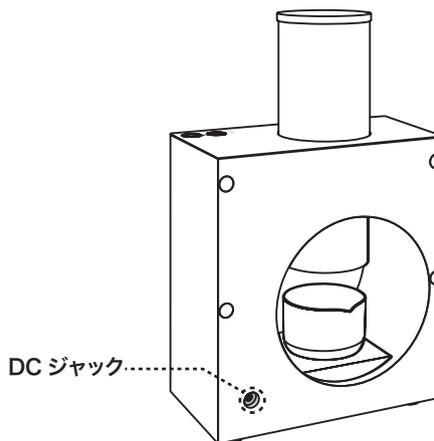
コントロールパネル



白ユニット受け



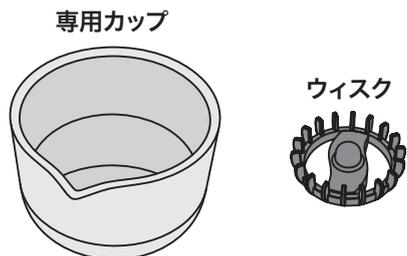
上から見たアルミ筒内部



お手入れ方法

専用カップ

使用後はウISKを取りはずしてから、やさらかいスポンジを使い、ぬるま湯か水で洗ってから、よく乾かします。
茶しぶなどの汚れが気になるときは、酸素系漂白剤が使えます。



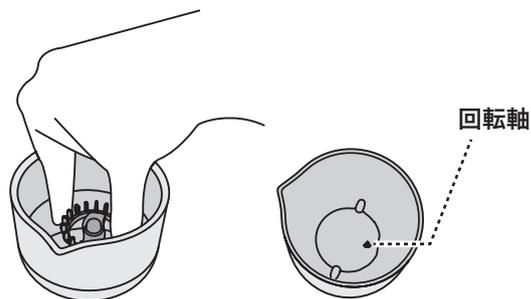
ウISK

はずす

専用カップの底についているウISKを回転軸から引き抜いてはずしてください。

つける

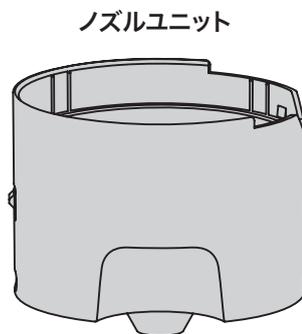
専用カップ底の回転軸に差し込んでしっかり取り付けてください。



注意：紛失や幼児の誤飲を防ぐために、洗ったあとは、忘れずに取り付けてください。

ノズルユニット

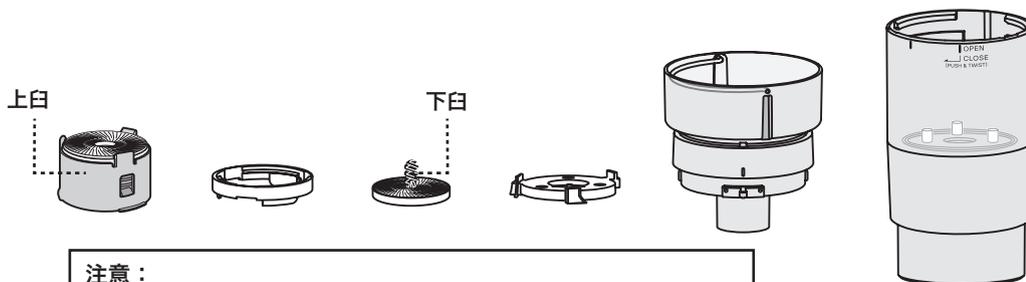
やさらかいスポンジを使い、ぬるま湯か水で洗ってから乾かします。
乾燥が不十分ですと、ノズルが詰まるおそれがあります。



お手入れ方法

白ユニット

MATCHAリーフが入っている場合は、別の容器に移すなど、取り出してから以下のお手入れをしてください。白ユニットを分解し (p. 8 参照)、残っている MATCHA POWDER をやわらかいブラシや乾いた布などで取り除いてから、組み立てます (p. 9 参照)。



注意：
上白と下白がくっついている場合は、無理にはずさないでください。

1ヶ月に1回程度：

白の表面に付いた MATCHA POWDER をやわらかいブラシなどではらい落としてから、やわらかいスポンジで洗います。水道水でよくすすぎ、十分に乾燥させてください。

つぎの場合はその都度お手入れしてください：

- 上下の白が目詰まりして、MATCHA POWDER が出てこないようなとき
- MILL (白) エラー表示ランプが点滅しているとき (上下白がくっついている可能性)
- 白の回転中に異音が生ずるとき
- 白ユニットの汚れがひどいとき
- 今後長期間使用しないとき

上白と下白がくっついてしまった場合：

無理にはずすと故障の原因になります。

必ずぬるま湯に浸して、無理なくはずせるようになるまでお待ちください。(目安時間：2～3分)

はずれた後は、やわらかいブラシで粉末を取り除き、水洗いしてからしっかり乾燥させてください。



注意：

水洗い後の乾燥は、乾いた布でしっかり水気を取ったあと、自然乾燥 (8時間以上) してください。水気が残っていると、白の目に MATCHA POWDER が詰まり、トラブルの原因となります。

食器乾燥器や電子レンジなどでの強制乾燥はしないでください。(変形や劣化の原因)

故障かな?と思ったら

こんな場合	故障ではありません
臼からキーキー音がする	<ul style="list-style-type: none"> ● はじめて使うときやお手入れ後は、MATCHAリーフが臼に入るまで音がしますが、異常ではありません。
使用中に臼の回転が止まったり、いつもと違う異常なうなり音がする	<ul style="list-style-type: none"> ● CUZEN MATCHA 専用リーフ以外のものが入っていませんか? →臼ユニットを分解して (p. 8 参照)、臼部分をやわらかいブラシなどでお手入れしてください。(お手入れは p. 22 参照) →臼ユニットを正しく組み立ててください。(p. 9 参照)
MATCHA POWDERがノズルから出てこない	<ul style="list-style-type: none"> ● はじめて使うときやお手入れ後は、スタート を押してから約 30 秒後に MATCHA POWDER が出始めます。 ● 臼ユニット内のパッキンは正しくセットされていますか? →臼ユニットを正しく組み立ててください。(p. 9 参照) ● 臼ユニットに水気は残っていませんか? →水洗い後はしっかりと乾燥させる必要があります。(お手入れは p. 22 参照)
できあがりの MATCHA POWDER の量がいつもより少ない MATCHA SHOTの濃さが薄い	<ul style="list-style-type: none"> ● はじめて使うときやお手入れ後は臼の目やすき間に MATCHA POWDER が入るため、量が少ない場合があります。 ● MATCHA POWDERの量は MATCHAリーフの保存状態や臼の個体差、使用環境などにより増減します。 ● MATCHAリーフは十分に入っていますか? → MATCHAリーフを追加してください。 ● 臼が目詰まりをおこしていませんか? →臼ユニットを分解して (p.8 参照) 臼部分をやわらかいブラシなどでお手入れしてください。(お手入れは p.22 参照)
マシン作動中、専用カップからカタカタ音がする	<ul style="list-style-type: none"> ● これは通常の動作であり、特に問題はありません。

故障かな?と思ったら

こんな表示が出たら	故障ではありません
                                            <p>MILL が点滅したら</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 臼ユニットが正しくセットされていますか？ → 竹フタを開け、臼ユニットをハンドルで持ち上げ、臼ユニットのくぼみが本体に向かって右側になっているか確認。臼ユニット受けの形状に合わせて、下奥までセットする。ハンドルの付け根の延長線が本体左右の端と垂直になっているか確認。(p. 7 参照) ● START (スタート) ボタンを押してもエラー表示が消えない場合は、下記が考えられます。 → 臼ユニットが正しくセットされていない。 → 臼ユニットがオーバーヒートした。(30 分ほど使用を止め、冷ましてください。) → 上臼と下臼がくっついてしまった。(p. 22 参照)
                                            <p>CUP が点滅したら</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 水の量は適切ですか？ → 水位線まで水を入れます。(p. 5 参照) ● ウィスクは取り付けられていますか？(p. 21 参照) ● 専用カップが正しく台座に置かれていますか？ → 注ぎ口は本体奥に向ける。(p. 5 参照) → 同梱された専用カップを使用してください。 ● START (スタート) ボタンを押してもエラー表示が消えない場合は、再度上記を確認してください。

問題が解決しない場合は、ACアダプターをコンセントから抜き、販売店または弊社のお問い合わせ窓口 (japan@cuzenmatcha.com) までお問い合わせください。この他、よくあるご質問 (FAQ) や使い方動画はこちらもご確認ください。

▶ FAQ

<https://cuzenmatcha.jp/pages/faq>



▶ 使い方とメンテナンス

<https://cuzenmatcha.jp/pages/use-maintenance>



保証とアフターサービス

修理を依頼される時は

1. 「故障かな?と思ったら」(p. 23~24) をご確認ください。
2. それでも異常があるときは使用をやめて、必ずACアダプターを抜いてください。
3. お買いあげの販売店または弊社お問い合わせ窓口にご連絡ください。
この製品は、日本国内用に設計されているため、海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。(For usage and repair service only in Japan.)

保証期間中

- ・保証期間…お買いあげの日から1年間です。
- ・保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
※一般家庭用以外(たとえば、業務用、車両・船舶への搭載)に使用された場合の故障・損傷などは有料です。
- ・修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

- ・修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

- ・修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。
技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代：修理に使用した部品代金です。

仕様

本体仕様

電源	交流 100V 50-60Hz 共用
定格消費電力	30W
定格運転時間	15分
外形寸法	幅 225×奥行 120×高さ 345(mm)
質量	約 2.1kg
粉末生成量	約 0.75g/分

※茶葉の保存状態や臼の個体差、使用環境などにより増減します。

専用アダプター仕様

品番	YLS06512A-J240200
定格入力	AC100-240V~50/60Hz 1.8A
定格出力	DC24.0V 2.0A
電源コード長	1,400mm

(Y CUZEN MATCHA